



NST NEWS

嚥下調整食試食会を実施しました！

H30.12.11

第 48 号

10月26日(金)、NST主催で嚥下調整食の試食会を実施しました。

さまざまな職種から約45名の参加がありました。

当院の5分軟菜食、ミキサー食、嚥下食、採用している一部の栄養補助食品を試食していただきました。アンケートにてたくさんのご意見をいただきましたので、参考にして当院の嚥下調整食改善に向けて取り組んできたいと思っております。ご参加、ご協力ありがとうございました。

ご意見から一部紹介します。

5分軟菜食・・・味がしっかりしていて美味しかった。

柔らかく食べやすかった。

ミキサー食・・・粥ミキサーの粘度が高い。

量が多い。

食材の味がしっかり感じられた。

嚥下食・・・美味しい。食べやすい。

くせがある。味が無い。

栄養補助食品・・・アイスが美味しかった。

甘い味のものが多い。

その他・・・お茶を変えてほしい。

会場の様子



5分軟菜食



栄養補助食品



★試食会後の動き★

- ・患者様のお茶を煎茶からほうじ茶に変更しました。
- ・嚥下食の内容を見直し変更に向けて調整中です。
- ・粥ミキサーの形態改善に向けて調整中です。

経管栄養中の下痢

経管栄養のトラブルで多い**下痢**について取り上げます。当院でも『患者様の下痢が止まらなくて…』『下痢するんだけど何に変えたらいい?』という相談を多くいただいています。経管栄養中に発生する下痢の原因としては**感染性腸炎、偽膜性腸炎、薬剤**などが考えられます。また、**投与速度、投与量、経腸栄養剤**が原因となっている場合もあるため見直しが必要になります。経腸栄養剤は商品によって特徴があり、成分も形状もさまざまです。当院では、下痢で栄養剤の変更相談があった場合、**YHフローレ(乳酸菌、食物繊維含有)、メイフロー(とろみ状)、F2ライト(とろみ状)、PGソフトエース(半固形)**を提案しています。実際に液体からとろみ状へ変更したことで便性状が改善した例もあります。医局、各病棟に設置している**栄養管理資料集**に当院の採用商品や問題別対処法をまとめていますので是非ご活用ください。

経管栄養問題別対処法から一部抜粋

【問題】	【原因】	【対策】	【栄養剤】	【備考】
下痢	投与速度が速い	速度を遅くする(20~30ml/h)	—	
	投与量が多い	容量を減らす	—	
		容量の少ない濃厚タイプに変更	メイバランス2.0zパック(2kcal/ml)	水分34.8ml/100kcal
	腸内環境が悪い	乳酸菌含有の栄養剤に変更	YHフローレ	乳酸菌、食物繊維含有
	乳糖不耐症	乳糖を含まない栄養剤に変更	【消化態栄養剤】ペプタメンスタンダード	
	消化・吸収機能低下	消化態栄養剤に変更	【消化態栄養剤】ペプタメンスタンダード、ペプチノ	
液体の栄養剤	とろみ状、半固形栄養剤に変更 (加圧ハック使用or自然滴下)	【経鼻の場合】 メイフローRHP(とろみ状)、F2ライト(とろみ状) 【胃瘻の場合】 メイフローRHP(とろみ状)、F2ライト(とろみ状) PGソフトA(半固形)	メイフローRHP:自然滴下(12Fr以上) F2ライト:加圧ハック使用(10Fr以上) メイフローRHP:自然滴下 F2ライト:自然滴下・加圧ハックどちらも可 PGソフト:加圧ハック使用	

ホームページ：摂食嚥下について

当院ホームページに**摂食嚥下**についての項目を追加しました。摂食・嚥下機能に障害のある患者様に対し当院が多職種でどのような取り組みをしているか紹介しています。実際に提供している食事の写真や食事内容調整の工夫、嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)についても掲載していますのでご確認ください。

一部抜粋



●**嚥下造影検査**、**嚥下内視鏡検査**も積極的に行っています。これらの検査を行うことで、外から観察するだけでは見えないうちの様子を評価することが出来ます。

【嚥下造影検査】

造影剤を混入した検査食を実際に食べて頂き、食べ物が入る口の中→喉→食道と送り込まれる様子をレントゲン透視した動画で観察することが出来る検査です。



スペシャルコンテンツ内
このボタンをクリック!

